

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
港区立児童発達支援センター【児童発達支援】		令和8年3月19日			
チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	24	5	<ul style="list-style-type: none"> ・広い部屋は同室可能にして2ケース同時に使うなど工夫をしている。 ・活動によってはホールを使うなどの工夫を行っている。 ・保護者の同意のもと同室での利用をするなどしている。 ・活動に合わせて机の位置や配置などは常に工夫して、活動や人数に合ったスペース確保できるようにしています。 ・個別支援は利用者数・対応可能な職員数に対し部屋数が不足しがちである。午後の時間帯は通園クラスの空き教室を使用する等、柔軟に対応している。 ・食事をまだしている子がいる中で、食べ終わった子が動いていると食事に集中できない様子もあり、もう少し空間的に距離が取れると良いと思う。また、1対1で食事をするクラスでは、食事スペースが窮屈なため、改善が必要だと思う。 ・空いている通園クラスを利用することで対応しているが、個別職員とクラス職員間の情報の共有が不十分で、部屋に大きなカートや大きなゴミ袋が置いてあることがある。 ・バギーや座位保持椅子を一箇所で管理し、利用児が過ごせるスペースを確保している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広い空間はパーテーションを使用するなどして個別のスペースを作る、個々のペースに合わせて一つのスペースでまとめて過ごす、机上で遊ぶよう促す、活動によって机の設定を工夫し、部屋を広く使えるようにするなど、その都度対応しています。 ・集団支援の部屋を個別支援にて利用する際には互いにコミュニケーションを取りながら進めてまいります。
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	23	6	<ul style="list-style-type: none"> ・法的必要人数は確保されているものの、欠員が補充されていない。 ・人員が不足しているときがある。 ・クラス職員に加えてヘルプ職員が入っている。 ・クラス職員が欠席の時は、できる限り必要人数を補充できるようにしている。 ・必要に応じて、非常勤職員などヘルプとしてクラスに入ってもらっています。 ・職員体制や活動内容に合わせて、安全に支援できる人数配置となっている。 ・人材が定着しないため、支援員の負担が大きいと思う。職員をケアやフォロー体制を整える必要があると今年度は感じた。人材育成の研修を受講した者など、適した人材で人材育成に取り組む必要がある。 ・休職者や退職者への対策が必要。 ・利用児の状態に合わせて看護師の協力を要請しているが、看護師の休みが多い時は給食の配置が厳しい時もある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度と同様、欠員が出た場合は、非常勤職員やヘルプ職員を配置し、その日の登園人数や活動内容に合わせて、その都度職員の入り方を確認しながら対応し、十分な職員体制が整ったうえで支援を行っています。今後も、適切な人員を確保していけるよう努めます。
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	25	3	<ul style="list-style-type: none"> ・コンセントや扉の鍵の位置が子どもの手の届くところに設置されているため改善が必要だと思う。 ・パーテーション等を用いて、余分な刺激を制限するなどしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電気スイッチに箱でカバーをしたり、子どもの手が届く位置にあるコンセントには、コンセントカバーを付けて対応しています。コンセントは適切なカバーを随時見直し、試しています。コンセントを気にするお子さんがいる際には、常にプラグをさしておくのではなく、クリップ等を使って使用時にさして、園児が気にならないようにしています。鍵も同様に、位置を修繕することは難しいため、工夫を検討していきます。 ・机を置く位置を工夫したり、パーテーションを使用するなどして環境を整えています。 ・安全点検を月一回実施し安全に使用できる環境となっているか確認し、必要な場合は速やかに修繕等を実施しています。また園庭にスロープを設置し、避難時に対応できるようにしています。 ・お子さんの特性に合わせて必要に応じて安全に過ごせるよう配慮していきます。
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	28	1	<ul style="list-style-type: none"> ・毎支援後に、机などの消毒可能なものはアルコール消毒を行っている。 ・業者による清掃が毎日行われている。また不十分な箇所がないかお子さんを迎え入れる前に確認したり、使用したおもちゃや教材は毎回消毒し清潔を保てるように心がけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部業者による清掃が毎朝行われています。また、お子さんを受け入れる前にも再度職員が清潔な環境に保たれているかを確認しています。 ・床の汚れがある際や清掃が不十分な際は、各クラスクイックルワイパーなどで清掃しています。 ・引き続き、お子さんが気持ちよく過ごせるよう衛生管理に努めていきます。

環境・体制整備

	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	27	2	<ul style="list-style-type: none"> ・遊戯室を使用して職員とクールダウンしたり、廊下を歩いたりともどもに合わせて環境を変えていると思う。 ・痾癩やパニックになった際、クールダウンする部屋がない。 ・必要に応じて、担当者間で相談をして部屋の調整をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お子さんの必要性やクラスの状態に応じて、中庭や園庭、ホールで過ごし、活発に動く時間やリフレッシュする時間を設けています。 ・痾癩やパニックになった時に一人になれる部屋を確保することは難しいですが、場所を変えたり、廊下など静かな場所に移動することで対応しています。また、部屋の移動が難しいときにも、周囲から死角になる位置（お子さんの視線で）で対応することで落ち着く様子もあるので、その都度、活動の位置を配慮するようにしています。 ・お子さんの様子に応じて対応し、個人の判断ではなく、クラス職員間で相談のもと対応をしています。今後も、担当者間で情報交換をして場所を共有・使用できるように工夫していきます。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	24	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ケース会でのモニタリングや、会議を行っている。 ・毎日の振り返りにはクラス職員だけでなく、その日に入った個別職員も参加しています。また、ケース会ではクラス関係者全員でケースワークを行っています。 ・行事の反省を職員間でするが、前年度の反省が生かされていない場合もある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ケース会やモニタリングを定期的実施し、関係する職員全体で検討しています。 ・行事についても反省や振り返りを行っています。 ・日々の支援でも、毎回振り返りを実施し、反省を活かしなら運営しています。今後も事業後の振り返りを行い、担当者間で引き継ぎます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	29	0		<ul style="list-style-type: none"> ・父母会の要望書や事業所評価でいただいた意見について職員全体で共有し、検討しています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	28	1	<ul style="list-style-type: none"> ・年に2回、上司と面談の機会が設けられている。 ・周囲の方に配慮いただき、自分の能力に合わせた業務内容に調整していただいた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に上司との面談の機会が設けられています。 ・毎日のミーティングに全職員参加し、情報共有を図っています。また、施設長が朝帰りの送迎時に玄関でお子さんの様子を見るなど、お子さんや職員の関係性や支援の様子を常に複数の目で見守るようにしています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	28	1		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的実施し、評価内容の周知や、改善に向けた取り組みなどを行っています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	29	0	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の興味や必要性に合わせた研修内容や、頻度については引き続き検討が必要。 ・オンラインの研修や、外部研修、毎月の職種別研修など、様々な研修に参加しています。 ・事業所内で年間で多数の研修を実施したり、外部への研修参加も積極的に行っている。 ・毎月1回の全体研修の他に、専門職によるスーパーバイズがあり研修の機会が多いと思う。しかし、ケースの発表などがあると通常業務の他に発表の準備があるため、仕事量の負担が大きいのではないかとと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内研修や、外部研修など年間で複数回の研修を実施・受講しています。職員の負担も考慮しながら今後頻度や内容を検討していきたいと思います。 ・今後も職員の専門性向上のために内部研修や外部研修の機会を設けていきます。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	29	0	<ul style="list-style-type: none"> ・設定した目標に合わせて支援プログラムを組み、支援後には保護者にプログラムのねらいを共有している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な支援プログラムはホームページに公表するとともに、支援プログラムは、一人ひとりに合わせて作成しています。通園では、月ごとの月案、週ごとの週案をクラス職員全員で事前に作成し、それをもとにプログラムを実施しています。 ・サービス提供記録や通園の連絡アプリ等で、支援内容を保護者の方にお伝えしています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	29	0	<ul style="list-style-type: none"> ・上記の9.11と同じ。 ・計画の作成に当たってクラスで話し合い、必要に応じて専門職にも意見を聞きながら行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・標準化されたツールを使用してアセスメントを実施した後に、保護者のニーズや、お子さんの発達や課題に応じて、担当職員全員で個別支援計画を立案しています。 ・日頃の支援における情報共有に加え、支援の開始や見直し時には保護者面談を実施しニーズに沿った支援を心がけています。 ・通園は、バス登園で保護者とお会いする機会が少ないため、必要に応じて電話にてお話しする機会を設けるようにしています。また、保護者プログラム等で来所された際には、職員からより積極的に声がけてまいります。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	29	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ケース会にて検査結果と支援計画を共有している。 ・支援計画はクラス職員全員で話し合っ決めていきます。 ・検討しているのは関わるクラス職員のみ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・標準化されたツールを使用してアセスメントを実施した後に、児童発達支援管理責任者を含めたお子さんに関わる職員全員が参加するケース会やクラス内で話し合いにて検討し、個別支援計画書を作成しています。 ・検討の中で、疑問に思ったことやその経過をクラス担当の副主任・主任に確認・相談をしています。また、支援計画については、クラス職員、必要に応じて個別支援担当職員（心理士・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士）、副主任・主任、施設長と複数の職員が確認し、内容について検討するシステムになっています。

14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	29	0	<ul style="list-style-type: none"> ・同上 ・支援期間の半年の中で、中頃に中間モニタリングを行い、クラスで子どもの様子を話し合っている。 ・日々の支援に加え中間モニタリングの実施やケース会での専門職との連携によって職員間で共有されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援に関わる職員で個別支援計画の共有やモニタリングを実施し、計画のもと活動を立案し、支援を実施しています。 ・支援計画案について保護者から了承が得られたら、クラスで読み合わせをして計画を改めて周知したり、クラス間で適宜話し合いながら支援を行っています。中間モニタリングで達成しているものは次のステップを考えています。
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	29	0	<ul style="list-style-type: none"> ・各事業で共通の書式を使っている。 ・発達検査と専門職がクラス観察に入り、ケース会等での意見交換により、総合的に支援のアプローチできている。 ・複数の職種がそれぞれの立場から意見を出している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発達検査や心理士・PT・OT・STによるクラス観察を実施し、ケース会での意見交換を行ったうえで、お子さんに合わせた総合的な支援を行っています。
16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	29	0		<ul style="list-style-type: none"> ・本人支援、家族支援、移行支援・地域支援の項目に沿って個別支援計画を作成しています。
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	29	0	<ul style="list-style-type: none"> ・児発グループでは、会議を実施しその中で各職種が意見を出し合い、プログラムを組んでいる。 ・翌週の活動プログラムをクラスで出し合って決めています。 ・クラス職員で意見を出し合い立案している。 ・活動の根拠や見通しを明確にできるとなお良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・通園では、定期的にクラス職員間で話し合いながら活動を立案し、実施しています。 ・個別やグループの支援では、職種内、職種間で相談を行いながら、より効果的なプログラムが立案できるよう努めています。 ・それぞれの職員が発言できるよう、発言しやすい雰囲気づくりに努めています。 ・その日の活動のねらいに関しては、朝の打ち合わせで改めて共有する時間を設けています。
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	29	0	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ課題や動作を積み重ねたいときには目的を保護者に伝えるようにしている。 ・必要に応じて同じプログラムを繰り返し行うことがあるが、お子さんの発達や姿に応じて常に次の展開や支援を考えながら支援している。 ・繰り返し行う中で、意図を汲めるようになりたり出来ることが増えるので、同じ取り組みを少しずつ変えながら行っている。 ・場合によっては見通しを持って取り組めることを狙い、あえてプログラムを固定している時もある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お子さんがその都度興味・関心が持てるものを題材にするなど工夫をしています。 ・お子さんの様子に合わせて段階を踏みステップアップしています。 ・活動内容として積み重ねることを大切にしており、活動後の反省の際に、次のステップは何かを職員間で話し活動に取り入れています。 ・取り組みの定着を図る為、同じ活動を繰り返すことがありますが、その際も、前回の様子と比較し、援助方法や介助量を変える、発展させるなどして支援をしています。
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	29	0	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて評価を行いつつ、ケース会議を通して適切な支援について方針を検討している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・その日に登園しているお子さんに合わせて、柔軟に絵本や遊びの内容を変えています。また、制作などの机上の活動や給食など、状況や活動に合わせて個別に取り組めるよう設定しています。 ・必要に応じて評価を行い、お子さんに合わせた個別支援を実施したり、集団の中で活動内容に段階をつけて支援しています。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	29	0	<ul style="list-style-type: none"> ・活動前には、支援に入る職員で必ず打ち合わせをしている。 ・確認する時間を設けて、その日の活動のねらいや想定されるお子さんの動き、職員配置の確認等を徹底している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援開始前に打ち合わせを必ず行い、その日の活動のねらいや、職員配置などを検討して、支援にあたっています。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	29	0	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種がかかわっているため、それぞれの専門職の視点でお子さんの様子を共有している。 ・振り返りをもとに次の活動の計画を立てている。 ・活動内容の振り返りや、ヒヤリハットの共有などを行っている。 ・振り返りの時間、ひいては論点を明確に区切り、次の予定に間に合うとより良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日振り返りの時間を設け、支援に入った職員で活動やお子さんの様子や特記事項を共有して、今後の支援に活かせるようにしています。 ・振り返りの時間は開始と終了の時間の目安が決まられており、決められた時間でより重要なことを話すように意識しています。話し合う部分を初めに決めるなど工夫して実施してまいります。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	29	0	<ul style="list-style-type: none"> ・記録に必要な情報量や内容について目安があるとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・記録の書き方について、年度はじめに研修を行っています。 ・お子さん一人ずつの様子について毎回記録し、特に支援計画のまとめ作成時には振り返っています。また、週案にその日の活動の振り返りを記録しています。 ・事前打ち合わせで活動の狙いなどを共有した上で支援の振り返りを行っています。
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	29	0		<ul style="list-style-type: none"> ・支援計画書に沿って、モニタリングする機会を設け、できるようになった点や支援方法を変更すべき点などを適宜見直しています。
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	28	1		<ul style="list-style-type: none"> ・お子さんの担当者が会議に参加しています。担当者の参加が難しい場合は、クラス・担当から様子を聞き取ったり、普段の様子をよく知る上長が参加しています。

関係機関や保護者との連携	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	29	0		引き続き丁寧に連携してまいります。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	29	0	・連携の内容によっては、こちらから積極的に連絡を取っても良いかもしれない。	適宜連携し、必要に応じて関係者会議などで、情報共有を行っています。保護者様とも相談しながら進めてまいります。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	29	0	・就学支援シート等で行っている。	引き続き、特別支援学校の先生との引き継ぎや就学相談への情報提供、就学支援シートなど、連携に努めてまいります。
	28	(28～30は、センターのみ回答)	28	1	・情報交換や交流する機会をつくるのが難しいか。	区主催の事業所連絡会への毎回の出席や事業所向け研修の開催などに取り組んでいます。
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	28	1		外部講師を招いた研修やスーパーバイズを実施しています。外部研修にも参加しています。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	25	4		代表者が参加しています。
	31	(31は、事業所のみ回答)	/	/	/	/
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	16	13	・コロナ期以降再開の目処がたっていないか。 ・直接的に交流できる機会を作れると良いと思います。 ・保育園等を併用している子は交流があるが、所属がばおしかない子は、交流する機会がない。	・併用通園しているお子さんが増えていることもありますが、散歩などの機会地域との交流を図ります。親御さんのニーズに合わせて、情報提供していきます。 ・地域で実施されているイベントの情報提供も行いました。
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	29	0	・連絡アプリで、子どもの様子を個別に送信している。	短い時間になってしまうことも多いですが、こまめに伝えるように努めています。年数回、面談を実施しています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	28	1	・保護者勉強会の実施をしている。 ・保護者勉強会やここの会などで研修等を行っています。 ・勉強会や医療相談の実施がある。	・保護者向けの勉強会を適宜実施しています。引き続き、内容の充実を図りながら、実施していきます。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧に説明を行っているか。	29	0		・しおりや契約書等に記載し、オリエンテーションや契約時に説明する場を設けています。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	29	0	・定期的に保護者との面談が実施されている。 ・こどもの意見の取り入れ方について検討できると良いか。	・半年に1回実施している面談や、毎回の個別支援で意向をうかがい、反映するようにしています。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	29	0	・途中で利用中断や音信不通になるケースが一定数存在する。支援開始前・開始後の説明の見直しや、理由の聴き取りと対応ができると良い。	・面談の機会に確認し同意を得て、支援計画書にサインをいただいています。支援機関や見直しの時期についてお伝えしています。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	29	0	・必要に応じて電話や面談などを行っています。 ・保護者から要望があれば、面談を実施している。	・毎回の支援の面談の時間に加え、電話相談や保護者様との面談の機会を設けています。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	26	2	・きょうだい児の支援はまだできていない。 ・きょうだい児が交流する機会は特に設けていない。 ・懇談会や保育参加、ここの会など保護者同士が交流する機会を設けている。 ・研修や勉強会を通して交流の機会を設けている。きょうだい児については、ハード面・ソフト面共に実施は困難そうなので、段階的に進めていけるとよい。	・ひまわりの会やここの会、クラス懇談会、父母会などの機会を通して、交流できる場を設けています。 ・きょうだい児支援に関して職員研修を行いました。来年度、プログラム実施に向けてのプロジェクトチームを立ち上げ、検討していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	29	0		・適宜対応しています。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	29	0	・HPがあることを知らない保護者も多いのではないかと感じる。 ・毎月のお便りや、お知らせにより発信しています。HPについてはあまり周知されていないこともあり、効果的に活用できるとよいかと感じます。 ・連絡帳アプリを活用している。 ・ホームページはあるが、効果測定はできていない。コドモンを活用できている。	・支援の利用開始前にホームページを積極的に案内しています。 ・また、連絡帳アプリやおたよりでも行事予定を保護者様に向けてご案内しています。 ・ホームページについて、広く周知してまいります。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	28	1	・写真の取り扱いなど、事前に書類を渡し確認をしている。 ・利用者ファイルが多く、キャビネットに余裕がない。電子カルテ等のICT化が必要だと思われる。	・年一回の研修を実施し、個人情報の取り扱いについて確認しています。個人ファイルを持ち運ぶ際には中身が見えないバックに入れる、書類はカモフラージュファイルを活用するといった工夫をしています。また、年一回のキャビネットの整理を実施しています。 ・区とメールでやりとりをする際はパスワード設定をするといった工夫をしています。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	29	0		・ご本人やご家庭に合わせた配慮を行っています。

	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	19	10	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員が見学にくるなど、地域の方の見学も受け入れています。行事に招待というところには至っていないように感じるので、今後計画できると良いかと思えます。 ・定期的に事業所向けの説明会を実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見学希望がある方を随時受け入れています。 ・敷地面積の関係で行事参加においても、ご家族の人数参加の制限をしているため、地域住民を招待することは難しい状況です。 ・障害保健福祉センターのお祭りの手伝いや地域の懇親会などに参加しています。 ・民生委員が施設に見学に来るなど、ばおの事業について直接的に知ってもらえる機会を設けています。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	28	1		<ul style="list-style-type: none"> ・引き取り訓練の実施や、定期的に地震や火災等、様々な状況を想定して訓練・研修を実施し、マニュアルを作成しています。また、訓練後の反省を委員会できりまとめ、職員間で共有しています。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	29	0		<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、職員間や園児も含めて非常時や災害に備えた訓練を実施しています。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	29	0	<ul style="list-style-type: none"> ・センター全体で共有するため、月に一回、アレルギー児の再確認をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年度初めに保護者に確認し、関係職員と確認しています。また、アレルギーのお子さんの確認を月初に全職員で実施しています。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	29	0		<ul style="list-style-type: none"> ・医師の指示書に基づいて対応しています。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	28	1	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護、防災、感染症、BCP等の研修や訓練はあるが、安全管理の研修については不明。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修などで共有しています。安全計画を作成し、計画のもとに安全面に配慮した支援を行っています。今後も委員を通して積極的に取り組んでいきます。 ・毎月、安全点検を実施し、年度初めには、安全管理の通園では引き取り訓練を年2回実施し、災害時の対応を確認しています。 ・職員間では各種非常時を想定した訓練を実施し、実施後の反省をもとに計画の見直しなどを実施しています。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	29	0	<ul style="list-style-type: none"> ・安全計画があると思うが、取り組み内容やマニュアルの説明を定期的に行ってほしい。 	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	29	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングで、各クラスよりヒヤリハットの有無や内容を報告している。 ・夕礼で情報交換をしている。 ・基準が必ずしも明確ではないが、ミーティングで共有することで一定の基準を担保できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットの内容や再発防止については、ミーティング時に報告し共有しています。全体に関することは、通園・個別双方に周知しています。 ・施設長への報告は徹底されているため、ヒヤリハットにあたるかどうかは施設長の判断となっており、一定の基準を担保できていると思います。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	29	0		<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止研修や職員の虐待に関するアンケートを全員参加で実施し、虐待防止に努めています。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	29	0		<ul style="list-style-type: none"> ・「行動抑制に関する説明書・同意書」を作成し、支援開始前に説明し、保護者様に同意を得ています。 ・ケース会・職種内ミーティングで行動抑制に行動抑制に変更がないかどうかを確認しています。 	